

「きれいだなあというと

景色がなおきれいになる」

校長 桐野 和之

皆さんは「言葉」が力をもっているということを信じますか。日本には昔から「言霊」という言葉があり、言葉は魂をもっていると信じられてきました。「魂」ということは「心がある」ということです。私たちの口から出た言葉は、周りの人に影響を及ぼす力があるのです。また、日本には古くから「以心伝心」という言葉もあり、強く心に思っていれば何も言わなくても相手の心に通じるものという考えもありました。でも、やはり思っているだけでは相手に通じにくいものです。



ところで、皆さんは高村 光太郎さんという人を知っていますか。彫刻や詩をつくった人として知られています。この高村 光太郎さんが、「きれいだなあという景色がなおきれいになる」と言ったそうです。私はこの言葉を聞いて、ますます言葉は大事ななあと思いました。感動したことを言葉にして伝えると、その感動を広げることができます。そして自分の気持ちをあらためて確認することにもなります。高村光太郎さんは奥さんの智恵子さんととても仲が良かったそうです。智恵子さんも感情豊かな人で、「東京には本当の空がない。本当の空が見たい。」と言ったそうです。智恵子さんのふるさと安達太良山が見える緑豊かなところでした。それが東京に出てきて空を見あげると、自分のふるさとより空気が汚れていて、あまりきれいな空ではありません。光太郎さんは、智恵子さんの気持ちを大切に、ふるさとの空を見せてあげようと一緒に旅をします。そこで、きれいな景色に出会い、感動して、言葉を発します。きれいなものを見たときに人は感動するのです。それを自分の心の中でそっと大事にする事もあるでしょう。でも、その感動を素直に、「きれい」と言葉にすると、周囲の人に伝えることができます。それは、その景色の美しさにあまり関心のなかった周りの人にも気づかせることにもなります。また、自分の声が自分の耳に返ってきて、その景色の美しさは、目からだけでなく、耳からも入り、全身で感じとることができるのです。

言葉には不思議な力があります。思っているだけだと、曖昧に感じることで、表現すると、確かなことになります。また、表現した言葉は自分に返ってくるものです。だからこそ優しい思いやりのある言葉を使わなくてはならないのです。相手を「馬鹿」と言ったら、自分に「馬鹿」と言っていることと同じになります。言葉のもつ影響力は大きいものです。優しい言葉は、ほかほかした温かな雰囲気をつくり出し、汚い言葉は、とげとげした殺伐とした空気をつくり出します。



高村光太郎さんが言った「きれいだなあという景色がなおきれいになる」ということを「がんばるぞという、なおがんばれるようになる」とか「だれかに『きれいな字だ』って褒められたからなお字をていねいに書くようになった」とかにかえてみたらどうでしょうか。自分で言ったこと、友だちに言われたことで、自分の心に強く訴えるものが生まれ、さらに良い方向に向かっていきそうです。たった一つの言葉によって、人は、嬉しくなったり、悲しくなったりすることは皆さんも経験していることだと思います。自分の心に感じた、明るいきれいな感情を素直に言葉に表し、全ての人が楽しい雰囲気でお過ごせるようにしたいものです。自分の口から出る言葉が、大きな力をもっていることを忘れずに言葉を大切にしたいものです。

「3年生修学旅行を終えて」

第3学年主任

4月。新しいクラスが決まるとすぐに、修学旅行に向けた取り組みを始めました。班分け、班の係決め、係会の実施と事前の調べ学習。班員一人ひとりが見学したい場所を出し合い、みんなで話し合っ
てコースを決めました。昼食を取る場所、交通機関の乗り継ぎや移動時間、お土産を買う場所など、これまでの校外学習の経験を生かして、準備を進めました。係活動では、どの生徒も自分の役目をしっかりと理解し、主体的に取り組むことができました。期間が短く、忙しい毎日でしたが、みんなで協力して準備を行い、当日を迎えました。



1日目、薬師寺ではお坊さんの説法を聞き、その後、奈良公園の散策。気温が30度近くになるととても暑い中、班で決めたコースを、汗をかきながら見学していました。最後に興福寺の国宝館。国宝の阿修羅像など、貸し切りで見学しました。2日目は、朝一番の静かな法隆寺をほぼ貸し切りの状態で見学しました。その後、京都に入り班行動。初めての土地で不安も多い中、事前の計画を基にどの班も目的をしっかりと持って見学を行うことができました。3日目はタクシーによる班行動でした。電車やバスでは移動が難しい場所を中心に生徒たちは見学をしました。学年行事の集大成として取り組んだ今回の修学旅行。これまで学んだ「自主・自立」をしっかりと活かし、成長した姿を見ることができました。学園中生活もあと9ヶ月。この学年のカラーを大切にしながら、より思い出深い日々を過ごしてほしいと思います。

「修学旅行」

3年 女子生徒

二泊三日という短い期間でしたが、とても充実した修学旅行でした。竜安寺の石庭や、伏見稲荷大社の千本鳥居など、歴史ある古都を見て回ることができてとても楽しかったです。

中でも印象に残ったのは薬師寺です。残念ながら当時の姿のまま残っているという東塔は見ることはできませんでしたが、薬師如来像など、貴重なものを見学することができました。そして何より、お坊さんのお話がとても面白かったです。正直言ってお坊さんのお話を聞くと知った時はつまらないのかなと思いました。しかし、お坊さんのお話を聞き始めてたった五分でそのイメージは崩れました。

「大人になるということは相手の立場や状況を考えることができるようになること。」

「面を下げていても面白いことは見つからない。」

「つまらないと決めつけずに、まずは話を聞いてみることに。」

といったありがたいお説教や、塔の構造を説明して下さる間にも、私たちが飽きないようにとダジャレや冗談を交えて笑わせてくれたお坊さんはすごいなと思いました。もう一度、お坊さんのお話を聞きに行ってみたいです。

今回の修学旅行ではゆっくり見学できなかったところもあったので、もう一度、京都・奈良には訪れてみたいと思います。その時までには古都のよさが分かる大人になりたいです。



「運動会を終えて」

保健体育科教諭

運動会の目的には3つあります。(1)日頃の授業の成果を発表するとともに心身の発達を促進させる。(2)正しく競技することを通して、社会生活に必要な規律を身につけさせる。(3)集団活動や係活動を通して、生徒の自治能力向上の機会とする。

体育の授業で身につけた規律正しい集団行動、ラジオ体操。ルールを守り競技し、自分の競技が終わった生徒がマナーを守り仲間に声援を送る姿。係の生徒が主体的に動き、その指示に従う生徒。様々な場面で生徒達の成長した姿が見られ、運動会の目的は達成されたと私は感じています。

特にすばらしかった点は、時間通りに競技が進行していたことです。私は今年で4回目の学園中の運動会でしたが、時間通りに進んだのは今回が初めてでした。

ではなぜ今年はスムーズだったのか。複数の要因があると思いますが、私は予行練習の反省をいかせたことが一番大きいと考えています。予行練習はそれぞれの係の動きがぎこちなく、連携もとれていなかったため予定よりも時間がおしてしまいました。ミスも多く競技の進行を止める場面も多くありました。この失敗の原因を係会で分析、改善し、本番では完璧にこなした。このことはとても地味なことのように思えますが、総合順位やムカデ競走の結果よりも評価できることではないでしょうか。



「最後の運動会」

3年 女子生徒

六月四日土曜日に私達は中学校最後となる運動会があった。この日はもの凄く晴れて、倒れそうになるくらい暑かった。

開会式が終わって、プログラムが開始。私がでる100メートル走はすぐで、下の学年が走り終えるのまでどきどきが止まらなかった。気づいたときにはもう前の子が走っていて、自分の名前が呼ばれたことなんて緊張しすぎて聞いていられなかった。ドキドキのまま走っていたら結果は四位。前の三人が走っているのを見たときは本当にくやしかった。悲しい思いのまま座席に戻り、次の種目に出る子達へ「自分ができることをしよう」と大声で応援した。でも簡単にはいかなくて、クラスの点数は四位になったり、



三位に上がったりと上位に上がることは難しかった。一位になりたいと強く願っていた私達は午前部の最後の競技、全員リレーで上位を取ろうと頑張っていた。だから私も、前の人を抜かせなくても全力で走ろうと思った。だが、私の順番が来たとき一番恐れていたことが起きた。バトンはきちんともらえていたのに、後ろの子が転んだところにまきこまれてしまい、私は左へと倒れてしまった。何が起きたのかその時分からなかった私は目を開けると、A組の子が私と同じく倒れていた。私はすぐに立ち上がり、「遅れてしまった。」と急いで走った。バトンを次の子に渡せたとき私の肘とひざには大きなすり傷があり、だんだん赤い血がにじんでいた。私は痛いという気持ちよりも私のせいで・・・という気持ちの方が大きかった。

午後の部が始まったとき、D組は急に力を発揮し始めた。男女のハードルは一位、二位を独占し、ムカデでは一度こけただけで二位という結果になった。学級対抗リレーでは一位を取り、いっきに逆転し、総合優勝ではD組が優勝した。私は、自分のせいで・・・とばかり思っていたのでD組の団結力はものすごいものだと思った。

大泉学園中に赴任して②

第2学年教諭

こんにちは。この4月に異動してまいりました。教科は国語です。学園中の生徒のみなさんと出会って、一月半がたちました。2年生のみなさんの明るい声に元気をもらっています。3年生からは温かい挨拶の声をかけてもらいほっとしています。1年生のまっすぐなまなざしに気が引き締まります。

運動会の取り組みが始まりました。どんな活躍をするのかなと今から楽しみです。精一杯応援していきたいと思います。よろしくお祈りします。(5月)

第1学年教諭

はじめて学園中を訪問した日は、運に見放されてあいにくの土砂降り。初めての訪問での緊張と、雨に濡れて憂鬱な気持ちとで、不安でいっぱいになった。8年間務めた前任校を去るとき、顧問をしていた吹奏楽のメンバーを号泣させてしまったことも、不安に拍車をかけた。

あれから3ヶ月。

音楽室から見える大ぶりの桜の枝に感動し、学園中の混声三部合唱の校歌を聴いてわくわくし、旧知の先生と再会して興奮し、すてきな吹奏楽部員と出会えて希望が沸いた。今は不安ではなく期待が心を満たしている。

私に何ができるわけではないけれど、音楽を通じて、人とふれあうことの喜びや、音楽を通じて本気になることの楽しさを、一緒に共有できるといい。なにより、大人だっていっぱい悩んだりすることや、それでも人生って結構楽しいということを伝えられるといいな、と思っている。

こんな私ですが、保護者のみなさま、どうぞ一年間よろしくお祈りします。(6月)

～部活動の試合結果等～

練馬区春季大会

卓球 女子ダブルス 優勝 3年女子、2年女子ペア
女子シングルス 優勝 3年女子 5位 2年女子

練馬区夏季大会・ブロック大会・その他

<野球>

学園7-6武蔵 学園0-4中村・豊玉二連合チーム

<サッカー>

学園1-2谷原 学園1-4石神井 学園1-0豊玉二 学園0-2田柄

<女子バレーボール>

学園2-0中村 学園0-2北町 学園

2-0光が丘三 学園2-0大泉二

学園2-1関 学園1-2練馬

<第3ブロック大会女子バレーボール>

学園1-2関 学園0-2東京立正

<バスケットボール>

男子 学園30-68石神井

女子 学園34-32南が丘 学園66-27石神井東 学園50-67光丘第三

<都中学校地域別陸上大会>

西部共通女子800m 第4位 2年女子

<第3ブロック柔道大会>

女子個人戦48kg級 第2位 1年女子

